

VISIT...

LANZAROTE
Caliente.COM

Solo Piano

COLLECTION

◎ピアノならではの音色と音域の鳴りを考えながらプレイしよう

イン・ジーズ・アームズ

デヴィッド・ブライアン

Words and Music by Jon Bon Jovi, Richie Sambora, David Bryan

©1992 by PolyGram Int'l Publishing, Inc./Bon Jovi Publishing/Aggressive Music/EMI April Music/Moon Junktion Music Rights for Japan jointly controlled by PolyGram Music Japan d/b/a k.k. Kitty Music and Toshiba EMI Music Publishing Co., Ltd. Authorized for sale in Japan only.



「オン・ア・フル・ムーン…」
デヴィッド・ブライアン
PH PHCR-1301

採譜／解説●石川芳

譜面は真っ黒で脅迫的な感じがしますね。でも実際は、そんなでもないんです。……というかまあ、あれこれ考えずにとにかく弾いてみては？

同じことの繰り返しなんだけれど、装飾音とかほんのわずかなリズムの刻みの違いが、曲全体を「飽きさせない」ようにしているんですね。

16分音符で絶えず動き続けるというのが、譜面を難しそうに見せてしまっている原因なんですけれど、これって偶然の連続でしょ？「思い付き

たままの弾きまくり」を、これまた意地悪なくらいに「こだわり」を見せて採譜しちゃったもんね。だから、譜読みは骨組みさえしっかり押さえれば、そんなに神経質になる必要はないと思うよ。

右手のトップがたいいの場合メロディになっているから、メロディを目立つように弾くのは言うまでもないんだけど、この音域の広さの意味も考えたいね。ベースがドーンと低く鳴ると雰囲気

ダルを踏み続けていると濁っちゃう。□や□の後半なんかは、ピアノならではのとっておきのサウンドだし、そういった音域ごとのピアノの鳴りを、しっかり理解して奏法を研究してください。

左手がオクターブの中で分散的に動く箇所が多いので最低音に狙いを定めて、手は絶えずパー状態(クニャクニャにせえなんて言っていないッ!)にしておく弾きやすいです。オルゴールが静かに止まるみたいに終わってね。(芳姫)

♩ = 72 ~

126

9 $C^{\#}m$ 3 A A(onB)B 11 $\boxed{B}$ E

12 $A\Delta 7(onE)$ 3 E A(onE) 3

15 E A(onE) 3 E

loco *l.h.*

8va bassa ...

18 $A\Delta 7$ 3 $C^{\#}m$ 3 A B

loco *cresc.*

8va bassa ...

21 $\boxed{C}$ E B $C^{\#}m$ A E $C^{\#}m$

f *loco*

8va bassa ...

24 B A E B

Solo Piano

26 C[♯]m A E C[♯]m

28 B A E F[♯]m7 E(onG[♯])

8^{va} bassa

30 [D] B A E F[♯]m7 A(onG) B

8^{va} bassa

33 A 8^{va} loco 35 E B

loco

36 C[♯]m A E B F[♯]m A

39 B 41 E B

8^{va} loco

128

42 C#m A E C#m B A

45 E B C#m A E E(onG#)

48 B A 49 E A(onE)

51 E A9(onE) E

54 AΔ7 E sempre A(onE)

57 C#m A B E